

がんばる。わづかびとに聞きました

まちの活性化を願うそれぞれの立場でがんばる、わづかびとにお話しを伺いました。最初の「わづかびと」は和東茶(ほうじ茶・抹茶)「チョコレート」を考案された上香園代表の岡田文利さんです。

AQ

どんなチョコレートですか。

ほうじ茶チョコレートは砂糖の甘さを抑えて、粗挽きしたほうじ茶のパウダーを混ぜているため、舌触りの食感とほうじ茶の香ばしさが絶妙なバランスに仕上がっています。また、抹茶チョコレートも砂糖の甘さを抑えて抹茶をふんだんに投入して練り上げているため、濃厚で香り引き立つ滑らかなチョコレートに仕上がっています。どちらも洋酒には勿論合いますが、日本緑茶にも合うチョコレートとして仕上がっています。

AQ

ちやこらを作ったきっかけは

ペットボトル茶が普及し、リーフ茶の売れ行きが低迷、茶商さんの冷蔵庫にも在庫が残るといふ現状の中、年々茶農家の経営が苦しくなってきた中、「このままではいけない」といふなかして農家経営を保っていかなければならぬといふ思ったのが始まりでした。



AQ

今後の思いを聞かせてください。

茶農家の経営が高まり、雇用を生み出す安定した茶農家の経営システムを作りたいです。高齢化している茶農家、お茶刈りは重労働のため2〜3人は必要です。そのため、後継者や従業員を雇用できる経営をしていかなければなりません。

単にお茶の製造・販売をするだけでなく、宇治茶の伝統、和東茶を守りながら、茶農家にしかできない特産品を生み出し、宇治茶の原産地和東町を全国に知らしめたいです。そして、町内の若者が豊かな発想と創意工夫でお茶に関連する色々な新商品の開発に取り組みることにより若者のお茶に対する意識が向上し、和東町の活性化に繋がるのではないかと考えます。

お茶の上香園 代表 岡田 文利
TEL 0774・78・2113
FAX 0774・78・5588



おいしくいただきました

和東保育園 お茶会

1月28日(水)、和東保育園では、茶育指導士の松石博美さん、美重子さんに抹茶のたて方・飲み方などを教えていただきました。

本物の茶器セットを一人ひとつずつ目の前にした子ども達は、いつもより緊張した様子で真剣に話を聞いていました。

実際に抹茶を口にすると、「お茶のにおいがする」「苦いけどおいしい」と口々に感想を

口にしながら楽しいひと時を過ごしました。



無料 第13回和東町人権フェスティバル 「和を東ねみんなでつくる人権のまち」



ちゃんへん.



ポルトポルズ

平成27年

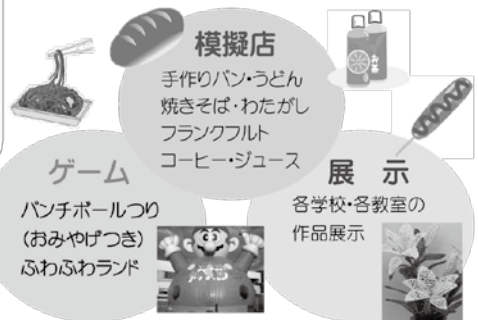
日時 | **3月8日**
10:00 ~ 15:00

会場 | 和東町人権ふれあいセンター
いきいきこども館

プログラム

- 9:30 受付
- 10:00 和東保育園児の歌と遊戯
- 10:15 ポルトポルズのサイエンスショー
- 13:00 式典
- 13:15 ちゃんへんのパフォーマンス
講演・ラップ
- 15:00 閉会

問い合わせ先
和東町人権ふれあいセンター
TEL 0774-78-3488



模擬店

手作りパン・うどん
焼きそば・わたがし
フランクフルト
コーヒー・ジュース

ゲーム

パンチボールつり
(おみやげつき)
ふわふわランド

展示

各学校・各教室の
作品展示

春を呼ぶ茶源郷からの灯り

和東町町制施行60周年記念

2月6日(金)と7日(土)に和東茶カフェ周辺で「和東町町制施行60周年記念 春を呼ぶ茶源郷からの灯り」が開催されました。

初日は堀町長による点灯式が行われ、点灯の合図とともにガラスハウスや天空カフェに灯りがともされました。

会場には、和東保育園児、和東小学校児童、ふれあいサロンのみなさんが切り抜いた牛乳パック灯ろうや、若手お茶農家さん、商工会青年部が製作した竹灯ろう、商工会女性部による折り紙ランプなど、手作りの灯ろうを中心に約5,000個の灯りがともされました。

ライトアップされた天空カフェは、夜空に浮かびあがり、普段とは異なる姿を見せていました。

時には雪が舞う中、会場は幻想的な雰囲気にも包まれ、2日間で約1,400名の方が来場されました。

8日は、ボランティアの方のご協力により後片づけが行われました。

みなさん、ご協力ありがとうございました。また、多くの方々のご来場ありがとうございました。

